

—医師、歯科医師、薬剤師の皆さんへ—

# 「よくわからない熱」を「不明熱」 にまで厳選するためのアプローチ

日 時 8月24日(土) 午後5時～

会 場 兵庫県保険医協会 会議室(神戸フコク生命海岸通ビル5階)

(JR・阪神元町駅南へ徒歩7分、兵庫県農業会館西向)

講 師 天理よろづ相談所病院 総合診療教育部 佐田 竜一 先生

参加費 無 料

不明熱は総合診療医の診断推論能力を最も試される分野の1つである。不明熱診療において最も重要なことは、「普段からの”不明熱化”の予防」と「不明熱の理解」、そして「不明熱の診断」である。

- ・ 普段から問診・診察を重んじ、曖昧な臨床情報を明確化することで「不必要な不明熱化」を減らす。
- ・ あいまいな診断のもとでの抗菌薬・ステロイド治療を行わないことで、「不必要な不明熱」を生み出すことを避ける。
- ・ 不明熱の定義を理解するとともに、その定義に当てはまる前から不明性を有する発熱患者を「不明熱」と認識するように心がける。
- ・ 不明熱と認識した際に、患者の持つ病歴・身体兆候を網羅し、「発熱+α」の情報を拾い上げるとともに、不明熱となりやすい疾患頻度を知り、其々の疾患から想起される症状や所見の有無を整理する。
- ・ ただ闇雲に検査をオーダーすることなく、診断に必要となる検査を取捨選択して行い、診断精度を高める。

本レクチャーでは主に「普段からの”不明熱化”の予防」と「不明熱の理解」について論じる。

【佐田 記】

兵庫県保険医協会 神戸市中央区海岸通 1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5階 TEL/078-393-1840

お申し込み F A X 078-393-1820

参加申込書 第555回診療内容向上研究会(8/24)

市区郡名

病・医院・薬局名

Tel

氏名：	医師 ・ 歯科医師 ・ 薬剤師 ・ 看護師 ・ その他 ( )
氏名：	医師 ・ 歯科医師 ・ 薬剤師 ・ 看護師 ・ その他 ( )
氏名：	医師 ・ 歯科医師 ・ 薬剤師 ・ 看護師 ・ その他 ( )

【会場地図】

